

「まち研 @ 三浦半島」学習会へのおさそい

一緒に考えましょう

地域経済の現状と課題 自然エネルギー

地球温暖化問題 持続可能な社会…

これからの電力エネルギーとして 石炭火力発電は最良の選択肢か

横須賀、三浦は首都圏にありながら急速に人口が減少しており、地域経済も衰退の状況を呈しています。

こうした中、休止中の東京電力久里浜火力発電所に新たな石炭火力発電所の建設計画が打ち出され、環境問題を心配する声とともに、地域の活性化につながるものとして期待の声も聞かれます。

そこで、脱原発、そして持続可能な社会形成に向かいながらどんな選択肢が考えられるのか、専門に研究されている国立研究開発法人産業技術総合研究所の歌川学さんに、そして地域経済に大きな影響をもつ横須賀の産業構造について村上研一さんに、それぞれお話をさせていただくことになりました。

産業振興、雇用問題など、地域経済のあり方をこれからのまちづくりとの関わりで一緒に考えたいと思います。ぜひご参加下さい。



三浦半島地域自治研究会（通称：まち研@三浦半島）

連絡先：メール machiken-miurahantou@jcom.zaq.ne.jp ☎ 046(847)3253(鈴木)

10月10日(月)

13:30 ~ 16:30

(13:00 開場)

産業交流プラザ
第2研修室 資料代 500円



持続可能な社会形成に向かう世界の流れ、 現状と課題

環境にやさしいエネルギー、地元産業・雇用にも
資する選択肢を探る

歌川 学さん（国立研究開発法人産業技術総合研究所研究員）

火力発電の環境負荷と他の電源との比較、環境負荷の小さい省エネ・エネルギー転換の技術的可能性、地域経済・地場産業・雇用への一般的な効果など技術研究者の立場から数字に基づいてお話しします。エネルギー政策は一部の人が勝手に決めるのではなく、多くの選択肢の中から住民が選び取って決めていくことが大事ではないでしょうか。こうした立場からいろんな選択肢を学びたいと思います。

横須賀の産業の現状について

村上研一さん（中央大学准教授）

県内・横須賀市内の生産や雇用のデータを基に、地域の産業・経済の現状と性格について考えます。参加者の方々からのご発言もいただきながら、課題を探っていきたいと思います。